

かみ添 唐紙職人の手しごと

「かみ添」店主であり唐紙職人の嘉戸浩氏を講師にお迎えし、和紙に木版による文様を写し取って生まれる唐紙の魅力や、その手しごとの数々をお話しいたします。

当日は京都学・歴彩館が所蔵する、唐紙を用いた嵯峨本の謡本(光悦謡本)も会場内に展示します。
いにしへの時を経て、長きにわたり保存され続けてきた貴重な資料の佇まいをご覧ください。



『楊貴妃』(京都府立京都学・歴彩館所蔵)
光悦本の謡曲内百番の一つ。
光悦本(嵯峨本)は、慶長年間(1596~1615)後期に本阿弥光悦やその門流により嵯峨で刊行された古活字版の書物。豪商角倉素庵(スミノクラソアン 了以の子)も出版に協力したため角倉本ともいう。表紙や料紙に雲母模様が刷り込まれ、活字も光悦流の書体で、わが国出版史上最も美しい本ともいわれる。装丁は綴葉装(列帖装)で袋綴としない両面書写の装法である。「楊貴妃」は三番目物。金春禅竹作。

講演終了後、ご参加いただいた方の中から、20名限定で唐紙づくりの体験ワークショップを開催いたします。(別途事前にご予約が必要となります) ご参加の方は汚れてもよい服装、またはエプロン等ご持参でお越しください。

2021年10月30日(土)

[講演]

時間 13:00-14:00

料金 500円

定員 50名

[体験ワークショップ]

時間 15:00-16:00

料金 1,500円(材料費含む)

定員 20名(準備の都合上、4グループに分かれて作業します)

会場 京都府立京都学・歴彩館 小ホール

講師 嘉戸 浩

主催 京都府立京都学・歴彩館指定管理者

「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」

共催 京都府立京都学・歴彩館

後援 かみ添



嘉戸 浩(かど・こう)

2002年 Academy of Art University San Francisco グラフィックデザイン科卒業。卒業後ニューヨークへ移り、デザイン事務所でフリーランスデザイナーとして活動。帰国後、唐紙の老舗工房に入る。2009年独立、同年9月ショップ兼工房「かみ添」を京都・西陣にオープン。

かみ添 Kamisoe

京都・西陣のショップ兼工房。

「型押し」という古典印刷技術を用いて、多種多様の版木を使い、手摺りにより文様を写した紙の制作、販売を行う。襖紙、壁紙、便箋、封筒、ポチ袋などを揃えている。

【お申込み方法】

◇京都学・歴彩館ホームページ
(<https://rekisaikan.jp/>)

※講演、ワークショップをセットでご希望の方は、各ページからそれぞれお申込みが必要です。

講演
お申込み専用



ワークショップ
お申込み専用



◇お電話(075-723-4831)

以下の内容をお伝えください。

- ①催事名
- ②氏名(複数人の場合は全員分の氏名)
- ③電話番号

※締切は開催日の前日17時まで。

京都府立 京都学・歴彩館 Kyoto Institute, Library and Archives

〒606-0823

京都府京都市左京区下鴨半木町1-29

電話 (075)723-4831

[電車]

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車

①出口南へ徒歩約4分

[バス]

京都市バス1系統、204系統、206系統

「府立大学前」下車 北へ徒歩約6分

館内は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。マスクの着用と入館時の検温、アルコール消毒にご協力ください。※37.5度以上の方は入館をお断りします。(その他、主催者の判断により入館をお断りする場合がございます。)

